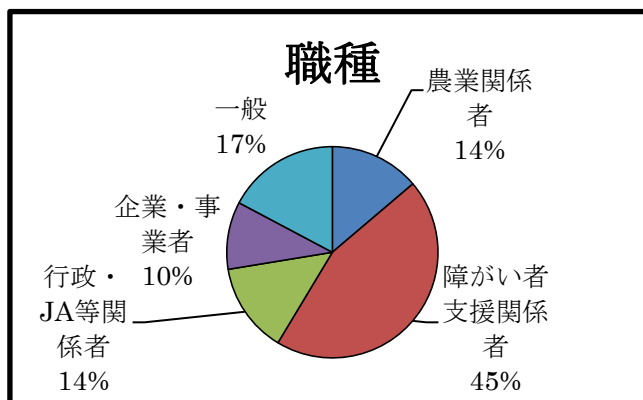


農福連携フォーラム アンケート結果

一般参加者 36 名・・・アンケート回収 29 名

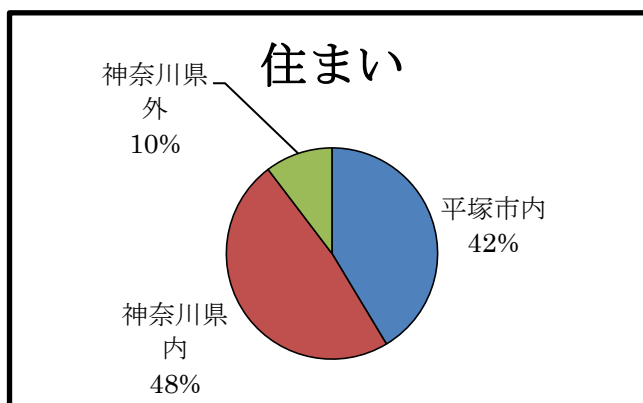
1-1. 職種

区分	件数	比率
農業関係者	4	13.8%
障がい者支援関係者	13	44.8%
行政・JA等関係者	4	13.8%
企業・事業者	3	10.3%
一般	5	17.2%
その他		
合計	29	100.0%



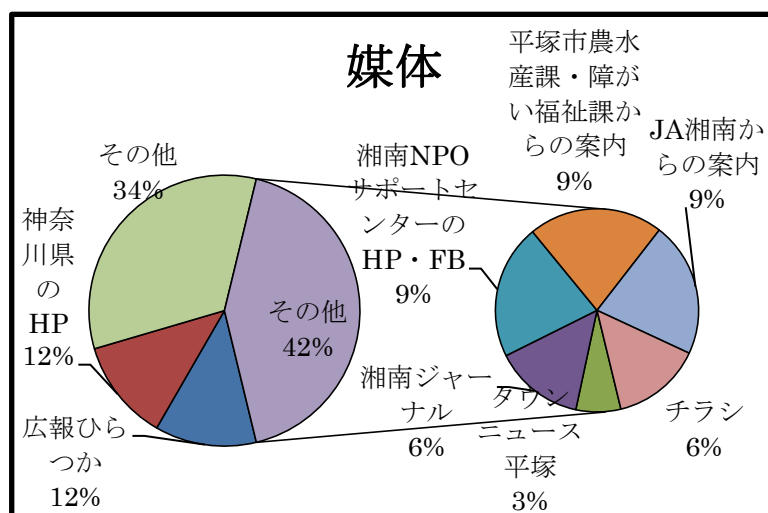
1-2. 住まい

区分	件数	比率
平塚市内	12	41.4%
神奈川県内	14	48.3%
神奈川県外	3	10.3%
その他		
合計	29	100.0%



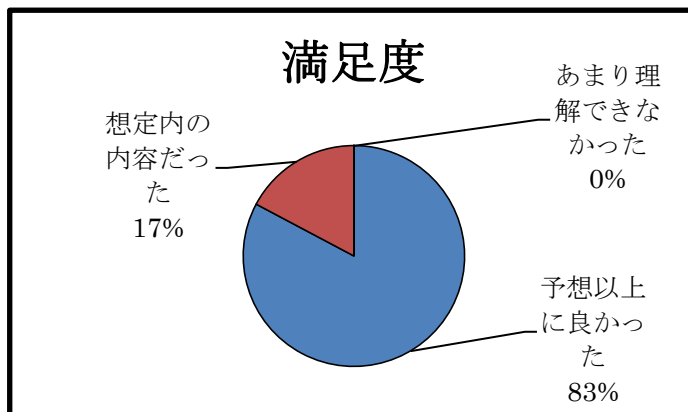
1-3. フォーラムは何をご覧になり知りましたか (複数回答)

区分	件数	比率
広報ひらつか	4	12.1%
神奈川県のHP	4	12.1%
タウンニュース平塚	1	3.0%
湘南ジャーナル	2	6.1%
湘南NPOサポートセンターのHP・FB	3	9.1%
平塚市農水産課・障がい福祉課からの案内	3	9.1%
JA湘南からの案内	3	9.1%
チラシ	2	6.1%
その他	11	33.3%
合計	33	100.0%



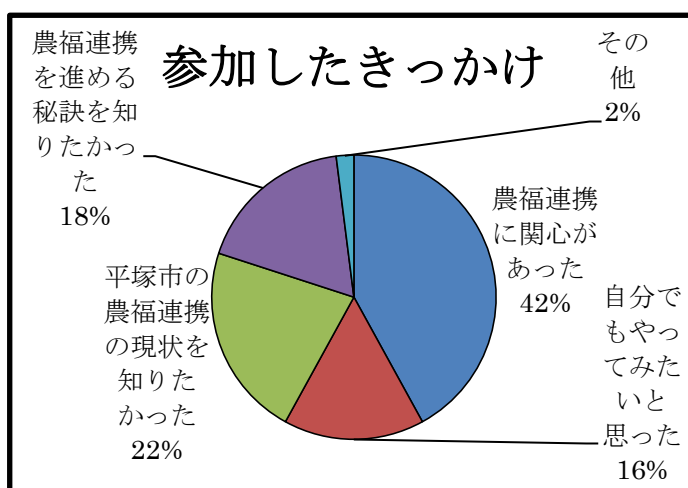
2.本日のフォーラムはいかがでしたか

区分	件数	比率
予想以上に良かった	24	82.8%
想定内の内容だった	5	17.2%
あまり理解できなかった		
その他		
合計	29	100.0%



3.フォーラムに参加しようとしたきっかけ・・・複数回答

区分	件数	比率
農福連携に関心があった	21	42.0%
自分でもやってみようと思った	8	16.0%
平塚市の農福連携の現状を知りたかった	11	22.0%
農福連携を進める秘訣を知りたかった	9	18.0%
その他	1	2.0%
合計	50	100.0%



(参考)

* 職種と参加のきっかけ/評価

区分	農福連携に関心があった	自分でもやってみようと思った	平塚市の農福連携の現状を知りたかった	農福連携を進める秘訣を知りたかった	その他	合計	人数	予想以上に良かった	想定内の内容だった	あまり理解できなかった	その他	合計
農業関係者	2	3	2	2		9	4	2	2			4
障がい者支援関係者	9	3	6	3		21	13	11	2			13
行政・JA等関係者	3	1	1	2		7	4	4				4
企業・事業者	3	1		1		5	3	3				3
一般	4		2	1	1	8	5	4	1			5
その他												
合計	21	8	11	9	1	50	29	24	5			29
農業関係者	50.0%	75.0%	50.0%	50.0%				50.0%	50.0%			100.0%
障がい者支援関係者	69.2%	23.1%	46.2%	23.1%				84.6%	15.4%			100.0%
行政・JA等関係者	75.0%	25.0%	25.0%	50.0%				100.0%				100.0%
企業・事業者	100.0%	33.3%		33.3%				100.0%				100.0%
一般	80.0%		40.0%	20.0%	20.0%			80.0%	20.0%			100.0%
その他												
合計	72.4%	27.6%	37.9%	31.0%	3.4%			82.8%	17.2%			100.0%

*参加者の職種と住まい

区分	平塚市内	神奈川県内	神奈川県外	その他	合計
農業関係者	3	1			4
障がい者支援関係者	4	8	1		13
行政・JA等関係者	1	3			4
企業・事業者		1	2		3
一般	4	1			5
その他					
合計	12	14	3		29
農業関係者	75.0%	25.0%			
障がい者支援関係者	30.8%	61.5%	7.7%		
行政・JA等関係者	25.0%	75.0%			
企業・事業者		33.3%	66.7%		
一般	80.0%	20.0%			
その他					
合計	41.4%	48.3%	10.3%		

2.本日のフォーラムはいかがでしたか

4.本日のフォーラムに関するご意見・ご要望を教えてください

農家、福祉事業所各々の意見を聞くことができたのは良かった	全体的に貴重な話しを聞くことができた
農福連携の定義、現場の体験談、両方聞くことができてよりイメージを具現化できた	勉強になりました。自分がやろうとしていることは地域型農福商工連携だということを知れて良かった。実現に向けて努力したいと思います。事例紹介を聞きながら・・・皆さん優しそうな方でした”相互助け合い”響きました。
	具体例と現状が良く分かりました。今後県域全体で広げていただきたい取り組みと思います。
イメージが湧いてきた。しかしわが法人で実現は厳しいと思った。現状のお金について知りたかったので、年間を通じて仕事の確保は難しいと感じた。	横浜市緑区で農福コーディネーターはどこにいるのか？具体的に提携できる手段がわからない。共同受注窓口等仕組みを確立してほしい。
	就労ABでなく生活介護では難しいのかと思った。
	ありがとうございます。現場の声が聞けて大変有意義だった。
農業関係者の福祉に対する考えを聞いて良かった。	A型として成功するためには何が必要なのか知りたかった。
農福連携において、脳内で考えていた方向性が間違いでないと確信できた。マッチ・デ・マッチも事例に合わせて知ることができ事業の推進に活用出来るかと思っています。ありがとうございました。	
全く知らない分野だったのでとても勉強になった。	事業所のビジネスモデルを自分なりに勉強してみようと思った。
農福連携と一言では言えないくらい深いものがあるとわかった。	
	大変勉強になった。
都内より活気があり活発でありました。参加出来て良かった。	
事例紹介の生の声が大変勉強になった。	今後も参加したい。
農家、福祉事業所の信頼をすごく感じた。信頼があつてはじめて連携が成り立つと思った。	事例紹介は現場の生の声が聞けて非常に良かった。
win-winの関係を作る内容を知りたかったが、福祉サイド視点の話が多くwin-winの関係づくりの確信が不明。	
農でも福でもない立場での参加だったが、理解しやすく且つ様々なパターンが見えて今後の参考に大変なった。	大変勉強になりました。可能であれば、またこのような機会がありましたらご連絡いただけると幸いです。
	他のコーディネート事例がわかり、交流できて良かった。
大変勉強になりました。福祉事業所の取り組みの現状とマッチ・デ・マッチがあり、これから解決に向けた幅広い取り組みが必要だと強く感じた。	農福連携マッチング等事業について、現在3地区で実施されている。この取組を県内各地域で広がっていくと良いと思う。行政側として、農政部局にも積極的に参画していただきたい。これからも農福連携に積極的に関わっていきたいと感じている。
農福連携はいろいろなところで広まっていることは知っていたが、日本の農業が地方では担い手不足で閉めてしまうことが多いと聞くので、そのあたりの担い手として障がい者だけでなく生活困窮等の働き場にもつながって欲しいと思う。コーディネーターがいることも知らなかった。勉強になった。	今後もこのようなフォーラムをやっていただきたい。
お互いのマッチ・デ・マッチがわかった。農業を通して仕事を提供しつつ、お互いがwin-win、happy-happyになれるようにしたいと思った。	具体的な金額が聞けて良かった。マッチングする場所は欲しいと思った。
農福を改めて理解意識できた。障がい者さんのやりがい、幸せ、就労支援、生産者の立場、具体的な話しが聞けて参考になった。ありがとうございました。	農福（依頼者・事業所）の連携具体例を聞けるだけで大変参考になる。また、A型B型、お金の話しも知れるとよい。
	農福連携の意義・現状・課題等色々知ることができた。とても勉強になりました。ありがとうございました。
農福連携のイメージが良くなった。濱田先生の話しが良かった。実践例がたくさんあって良かった。成果と課題がわかった。	この事業の今後に関心がある。その後の展開・活動報告など継続性を強く望みます。
事例が多く紹介されたので、具体的なイメージができた。	JAの方々などコーディネーターの力が不可欠だと感じた。
様々な農家とつながりができた。	濱田先生の話しがとても良かった。